

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

79

令和元年5月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地
八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506
ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



高野地マダム・カフェ

第二層協議体からつながったイベント。高野地地区で、たくさんの笑顔に出会いました。



平成31年3月24日(日)11時半から14時半、『高野地マダム・カフェ』が開催されました。「主催：千丈地区社会福祉協議会(以下、地区社協)・高野地サロン」

この取り組みのきっかけは、第二層協議体千丈地区の話し合いです。千丈地区の特徴の1つは、15ヶ所にふれあい・いきいきサロンがあることです。話し合いの中で、サロン間の交流の機会がもてないかと話題が挙がっていました。また、地区ごとに自分の地域の良いところを考えた時、高野地地区から『高齢者が元氣』『旧長谷小学校』『景色がとても綺麗』というキーワードが出てきました。そこで、高野地サロンと千丈地区社協が中心となり、高野地地区の方々にも協力をいただく形で、サロンの交流を行うことになりました。

当日は晴天の元、千丈地区内のサロンメンバーを中心に、100名以上の参加がありました。地元の方が心を込めて作ったお寿司やぼたもちに舌鼓を打ち、柑橘類や布ぞうり、カゴなどが出品されました。また、高野地神楽部の御神楽披露もあり、大賑わいのイベントとなりました。参加された方からは、「初めて高野地に来た」「楽しかった」「小学校懐かしいな」など、素敵な感想をいただきました。

少しずつ広がっています！
自分の地域とこれからの暮らしを考える場『第二層協議体』
 協議体では、住みなれた地域で暮らし続けるために出来ることを、考えていきます。

千丈地区

八幡浜市内で最初に立ち上がった千丈地区では、平成28年度から話し合いを重ねてきました。当初課題として挙げたのは、中山間部に住む方々の買い物の問題でした。高齢になり車の運転が出来なくなってきた中、「新鮮な食品を自分の目で見て買いたい」というニーズに対応するため、同時期に運行に向けて取り組み始めていた㈱フジと協議を重ね、共に運行ルートを考えていきました。

『マダム・カフェ』の取り組みのように、楽しく地域を盛り上げる企画にも取り組んでいます。



抱える課題やワクワクすることを話し合います

喜須来地区

地区社協で視察研修を行う中で、「気軽に集える居場所作りがしたい」と考えていた喜須来地区では、市内で2番目に協議体が立ち上がりました。地区社協が中心となり、平成29年度より『いきいき喫茶』をスタート。誰でもフラリと立ち寄れる居場所として、毎週火曜日10時から12時まで、喜須来地区公民館を会場に開催しています。地域に根付いた活動となっています。アクティブボランティア養成講座も開催し、地域でどのような支え合いの展開が求められているか、考える機会を持ちました。



いきいき喫茶の皆さん。素敵な笑顔！

大島地区

八幡浜市内唯一の有人離島大島地区は、高齢化率70%に迫り、80代の方が多くを占めています。今まで親戚同士の助け合いで解決していた困りごと（山間部の墓掃除など）が、高齢化・人口減少により難しくなってきました。そこで、『大島おたすけ隊』を結成。体力仕事などは安価で、ちょっとした困りごとは支え合い（無償）でボランティア活動を行っています。

活動する中で、島民の抱えるニーズも見えてきます。そこで、平成30年度に第二層協議体を立ち上げ、話し合いの機会を持つことになりました。



島民の生活を支えています

赤い羽根共同募金
助成金希望団体を募集！



愛媛県共同募金会

【助成対象】

福祉または福祉に関連する保健・医療、教育の分野において活動するボランティアグループ・団体、NPO

【助成対象事業】

児童、障がい者、高齢者などへの身近な福祉サービス・支援活動事業費

【助成金額】

実施しようとする活動・事業に係る経費の3/4以内とし、1団体30万円限度

【応募期間】

平成31年4月8日（月）
 ～令和元年5月17日（金）

八幡浜市共同募金委員会

【助成対象】

八幡浜市内に活動拠点があり、住民福祉向上のために活動する団体

【助成対象事業】

住民福祉の向上に寄与し、募金者に理解してもらえる事業

【助成金額】

上限3万円

【応募期間】

令和元年5月1日（水）
 ～5月31日（金）

お問合せ先

八幡浜市社会福祉協議会
 ☎0894・23・2940

平成30年度 ボランティア・ワークキャンプ 災害から学ぶ 地域の支え合い

平成31年3月9日(土)～10日(日)、喜須来地区公民館にて、市内の中学生・高校生を対象に、ボランティア・ワークキャンプを開催しました。中学生10名、高校生42名が参加し、平成30年7月豪雨災害の振り返りから、地域の支え合いの大切さについて学びました。

災害時には、 何が起ころのだろう

1日目は、八幡浜市総務課危機管理・原子力対策室を講師に、避難所運営ゲームを行いました。学校の体育館を避難所と想定し、避難者や時間経過とともに発生する出来事(トイレや洗濯、取材の問題など)に対して、どのように対応したら良いかを話し合いで決めていく、避難所運営の疑似体験ゲームです。頭文字を取って通称「HUG」と呼ばれ、「抱きしめる・受け止める」という意味があります。避難者の中には、高齢者、乳幼児、障害者、ペット連れなど、様々な方がいます。学生たちは、避難者が必要とする多様な配慮にどう対応するか、一緒に参加したボランティアや他の学生の意見に耳を傾けながら、限られた時間の中で考えて



避難者は、どんな人かな？

いきました。夕食は、ボランティアの協力を受け、70名分のカレーと温野菜サラダの炊き出しを行いました。調理や食事を通して、ボランティアとの交流もできました。夜は、7名が公民館に宿泊し、段ボールベッドを作り、寝心地を体感しました。

た。公民館で一晩を過ごすことは、布団はあっても疲れは取れにくかったようです。

普段からつながることは「もしも」の備えになる

2日目は、喜須来地区社協の役員の方々、及び豪雨災害で実際に被災した須川奥地区、神越地区からそれぞれ1名ずつご協力いただき、発災時の様子を話していただきました。被災された方が目にした状況、同じ地区で自身も被災しながら支えた喜須来地区社協の生の声を聞くことができ、貴重な時間となりました。喜須来地区社協の清家会長は、「発災時には、地域で様々な人とつながっていることが重要であると感じた。学生の皆さんには、若さを活かした力仕事をしてもらうのも良いが、まずは地域の方との挨拶、対話、行事への参加をして、顔見知りになってほしい」と語られました。

その後、喜須来地区社協が開いている「いきいき喫茶」のご紹介をいただきました。今年度で3年目を迎えるいきいき喫茶は、地区社協役員だけでなく、他の地域役員やボランティアとも普段から少しずつつながり、輪を広げてきました。今は、近所の一人暮らし高齢者の方が中心に参加しています。学生にも長期休暇などの時には、是非立ち寄ってほしい、とお声かけがありました。

最後は、いきいき喫茶特別版を開催しました。普段からいきいき喫茶に足を運んでいる方をはじめ、26名にお越しいただき、学生たちがそれぞれ考えた遊びで一緒に過ごしました。輪投げやドミノ倒し、トランプ、貼り絵などを通して会話もはずみ、楽しい時間を過ごしました。

学生からは「災害時には、地域つながりが大切になることが分かった」「まずは近所にどんな人が住んでいるのか知ろうと思った」「地域行事に参加していきたい」などの感想が聞かれました。



いきいき喫茶特別版にて、こぼれる笑顔

「活動のを知りたい」「勉強してみたい」など、ボランティア活動にご興味のある方、どなたでも受講できます！お申込み・お問合せは、八幡浜市社会福祉協議会（☎23-2940）までご連絡ください。

**受講料
無料**

点字・朗読のことを 見て・知って・体験する！
学びのバスツアー

松山市の『愛媛県視聴覚福祉センター』にて、点訳・音声訳の活動を教わり、実際に点字と音声訳を体験します。気軽に視覚障害者に関わるボランティア活動を知ることができます。帰りには、参加者の交流を兼ねて、昼食バイキングを予定しています。



日 時 / 令和元年6月17日(月) 10時～12時
場 所 / 愛媛県視聴覚福祉センター(松山市本町6-11-5) バスに乗り合わせて向かいます。
定 員 / 20名
申 込 締 切 / 令和元年6月7日(金)
そ の 他 / バス乗車時間・場所については、申し込み受付後にご連絡いたします。

手話奉仕員養成講座

手話は、聴覚言語障害のある方に、手指の動きや表情などを使い、視覚で情報を伝える言語です。日常会話の表現を学ぶほか、聴覚言語障害者の生活を知ることができます。

日 時 / 【入門編】
 令和元年6月12日(水)～10月9日(水)
 19時30分～21時(毎週水曜日・全17回)
 【基礎編】
 令和元年10月16日(水)～令和2年2月19日(水)
 19時30分～21時(毎週水曜日・全18回)
場 所 / 八幡浜市保健福祉総合センター2階
 シルバーボランティアルーム
講 師 / 愛媛県聴覚言語専門指導員 岡野 由季枝氏
 八幡浜市役所設置通訳者 藤 高 清 美 氏
 八幡浜市聴覚障害者協会 伊 藤 佳 子 氏
定 員 / 20名
テキスト代 / 3240円(税込)

**手話サークル
あゆみの会から一言**

「おはよう、今日は天気がいいね」
 「八幡浜ちゃんぽん おいしいね」
 など、手話で簡単な会話ができるようになりませんか？新しい元号「令和」の手話もあります。
 まずは、いろんな手話を知ることができる講座へどうぞ！



ボランティア養成講座

朗読(音声訳)ボランティア養成講座

朗読(音声訳)は、書籍や広報を音声にして録音し、視覚障害のある方にお届けする活動です。伝わる読み方や視覚障害者の生活について学びます。

日 時 / 令和元年6月26日(水)～9月4日(水)

14時～16時(毎週水曜日・全10回)

場 所 / 八幡浜市保健福祉総合センター2階

シルバーボランティアルーム

講 師 / 日本盲人社会福祉施設協議会

音訳指導員 岩 田 和 子 氏

定 員 / 20名

協 力 / 朗読ボランティア どんぐり

朗読ボランティア どんぐりから 一言

どんぐりでは、広報誌などの音声訳のほかに、施設に訪問して読み聞かせや交流活動も行い、喜んでもらっています。私達も施設の方に元気をもらいます。講座を受けて、一緒に楽しく活動しませんか？



点訳ボランティア養成講座

点訳は、書籍や広報の点訳を行い、指で読める本(点訳図書等)を作り、視覚障害者の方にお届けする活動です。点字の基礎から、パソコン点訳まで学びます。

日 時 / 令和元年6月30日(日)～9月8日(日)

13時30分～15時30分(毎週日曜日・全10回)

場 所 / 八幡浜市保健福祉総合センター2階

シルバーボランティアルーム

講 師 / 点訳サークル 竹の子会 山 越 義 晴 氏

定 員 / 20名

テキスト代 / 756円(税込)

協 力 / 点訳サークル 竹の子会

点訳サークル 竹の子会から 一言

点訳って難しいと思われがちですが、点訳を学んでいると日本語の新たな発見もあり、楽しみながら活動しています。皆で一緒に学んでみませんか？



平成31年度 八幡浜市社会福祉協議会

事業計画

社協の根幹である地域福祉の推進を基軸とした、市民の福祉向上に関する取り組みは、共に生きる豊かな地域社会をテーマとする「地域共生社会の実現」に向けた活動へと目指す方向性が明確化され、地区社協と共に今後より一層の地域福祉活動が期待されています。社会福祉法人制度改革を踏まえ、適正な事業執行体制及び内部統制体制の機能強化を図るとともに、基本方針を踏まえ、地域福祉活動、在宅福祉サービス、指定管理施設（養護老人ホーム）が、それぞれ以下の重点目標（一部抜粋）に沿った事業を積極的に推進します。



平成30年度八幡浜市社会福祉大会



ふれあい子育てサロン(川之石)



フードドライブ

A. 法人経営の基盤整備の推進

- 組織運営のための経営体制整備と基盤強化
 - 理事会・評議員会・監事会開催
 - 評議員選任・解任委員会の開催
 - 地区社協組織の充実と活動支援
- 財政基盤の強化
 - 自主財源の確保と適正な運営
 - 財務の適正化と事務の合理化
- 情報公開と広報活動
 - 八幡浜市社会福祉大会の開催
 - 機関誌「社協だより」の発行
 - ホームページ更新と内容の充実
- 職員の研修・資質の向上
- 苦情解決相談機能の推進

B. 地域福祉活動の推進

- 地域福祉活動の推進・強化
 - サロン事業の推進
 - 農福連携事業の実施
- ボランティア活動の推進
- 共同募金運動の推進協力
- 児童母子寡婦福祉事業の推進
- 心身障がい者(児)福祉事業の推進
- 生活支援体制整備事業の推進
- 八幡浜市地域支え合いセンター事業
- 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
 - 通所型サービスA事業「健康クラブ」
- 社会福祉関係機関・団体との連携強化

C. 権利擁護の推進

- 八幡浜市権利擁護センター事業
 - 保証・居住支援のありかたの検討
- 福祉サービス利用支援事業の推進
- 法人運営事業の推進
- 生活支援・相談活動の充実
- 八幡浜市生活困窮者自立支援事業
 - NPO法人・養護老人ホーム等との連携による中間的就労支援や居場所作り等の検討
 - 食料支援に関する連携(企業・NPO・フードバンク・フードドライブ・まごころ銀行)
 - 学生服のリサイクルの検討
 - 家計管理支援の検討

ある日の保内町デイサービスセンターの様子。
在宅でも安心して生活できるように、サービスを提供します。



- 介護保険事業
- 障がい福祉サービス事業
- 介護予防・生活支援サービス事業
- その他市受託事業
- 福祉用具貸出し事業

- ① 指定居宅介護支援事業所
- ② 社協ヘルパーステーション八幡浜
- ③ 社協ヘルパーステーション保内
- ④ 保内町デイサービスセンター

D. 在宅福祉サービスの推進

夏祭りの様子。両施設、地域の方々と交流の機会をもっています。



湯島の里



あけぼの荘

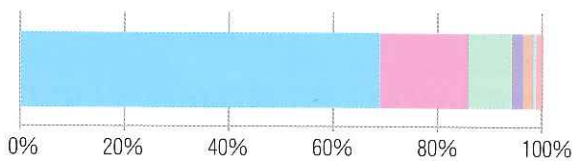
- 養護老人ホームの管理・経営
(湯島の里・あけぼの荘)
- 入所者の処遇の配慮
- 職員の資質向上
- 防災対策
- 社会(地域)貢献

E. 施設サービスの推進
(養護老人ホーム)

支出

支出合計

478,780,000円

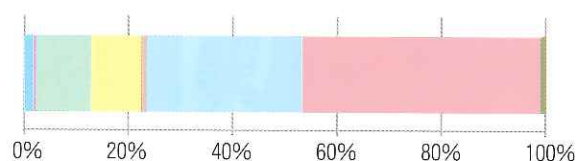


■ 人件費	328,799,000円
■ 事業費	81,046,000円
■ 事務費	39,650,000円
■ 貸付事業	720,000円
■ 共同募金配分金事業	10,790,000円
■ 助成金	8,510,000円
■ 固定資産取得	2,700,000円
■ 積立資金	6,565,000円

収入

収入合計

462,594,000円



■ 会費	7,000,000円
■ 寄付金	2,000,000円
■ 経営経費補助金	49,795,000円
■ 受託金	45,004,000円
■ 貸付事業	720,000円
■ 事業	3,308,000円
■ 介護保険事業	138,000,000円
■ 老人福祉事業	212,589,000円
■ 障害福祉サービス等事業	3,600,000円
■ 受取利息配当金	52,000円
■ その他	526,000円

平成31年度 八幡浜市社会福祉協議会 当初予算



第32回 福祉のつどい

新たな出発 出会い ふれあい 笑顔と感謝
～町も 人も みんなが元気！～

令和元年 **6月2日(日)** 10:00~15:00
場所：新町ドーム及びその周辺

32回目となる今回も、多くの人・団体が参画します。合唱等の多彩なステージや、「ばら寿司」「たこ焼き」等のボランティア団体お手製の食べ物や施設の手工艺品販売のブースなど、盛りだくさん！皆さまのお越しをお待ちしています。

主催：八幡浜市社会福祉協議会
八幡浜市ボランティア協議会
協賛：新町商店街振興組合

新町商店街の協賛により、午前中のもちまきには新町商店街で利用できる「お買い物券」あり！

今年の福祉のつどいでも・・・ フードドライブにご協力ください！

■ フードドライブとは？

ご家庭にある、“賞味期限は切れていないけれど、忘れられて保管されたままになっている「もったいない食品」”を持ち寄り、それらを福祉の団体、地域福祉活動、生活に困っているご家庭などに寄付する活動です。

ご家庭

フードドライブ

社会福祉協議会

福祉団体・地域・個人

当日、会場
(新町ドーム)まで
ご持参ください。
お受け取りしたものは
大切に活用します。

ご寄付いただきたい食品

- 賞味期限が1ヵ月以上残っている
- 開封していない
- ◎お米（お米券）
- ◎缶詰・レトルト食品・インスタント食品
- ◎粉ミルク・離乳食・お菓子
- ◎パスタ・そうめんなどの乾麺
- ◎のり・お茶漬け・ふりかけ
- ◎調味料（醤油・食用油・味噌など）

「もったいない」を「ありがとう」に！
ご協力をお願いします！

お問い合わせ先 八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL 0894-23-2940 FAX 0894-23-0506

やわたはま社協だより 78号（平成31年3月1日発行）にて、誤りがありました。

- ・2ページ 岡崎昌子さん
「八幡浜市更生保護女性会の保護司」▶「八西地区更生保護女性会八幡浜支部役員」
- ・2ページ 田淵久子さん
「八幡浜市更生保護女性会の保護司」▶「八西地区更生保護女性会保内支部」

大変申し訳ございませんでした。

